

--

2026年度

大学院保健学研究科保健学専攻「修士課程」

専門科目入試問題（一次）

領域名	問題ページ	問題番号
看護学領域	1～3	1～12
リハビリテーション学領域	5～6	13～22

【解答方法について（注意事項）】

1. 一般選抜者は4問を、社会人特別選抜者は2問を選んで答えなさい。
（解答用紙に問題番号を必ず記入すること）
2. 必ず自分の志望する領域の問題を選択し、解答してください。
3. 他の領域の問題を選択した場合、解答は無効となります。

2025年9月1日（月）

看護学領域（その１）

成人・老年看護学分野

問題 1 看護理論の意義を説明せよ。

問題 2 成人期患者に対する効果的な患者教育についてあなたの考えを述べよ。

精神・地域看護学分野

問題 3 近年の我が国における自殺者推移の傾向を説明してください。それを踏まえて、ゲートキーパーの役割を説明せよ。

問題 4 「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法の一部改正する法律」が令和 2 年 4 月 1 日から施行され進められている。「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が創設された背景および高齢者に対する保健事業の意義・目的を説明せよ。

母性・小児看護学分野

問題 5 以下の 1)、2) に答えよ。

1) プレコンセプションケアについて、説明せよ。

2) プレコンセプションケアについて、あなたが最も重要だと思う内容を挙げ、その理由を述べよ。

問題 6 災害時やパンデミックなどの緊急事態において、慢性疾患をもつ子どもや医療的ケア児への看護支援の課題と対策について述べよ。多職種連携や地域支援の観点を含めてもよい。

看護学領域（その2）

基礎・統合看護学分野

問題 7 特定看護師について、以下の1)～3)に答えよ。

- 1) 特定行為とは何か述べよ。
- 2) 特定行為研修制度とは何か述べよ。
- 3) 特定行為に係る看護師の研修制度が生まれた背景について述べよ。

問題 8 医療機関における医療安全を管理するには、様々な外部組織が連携して体制を整え、医療機関の質を担保することが重要である。それが安全な医療・看護の提供に繋がる。その医療安全管理体制に関わる外部組織として、国内には公的機関として「医療安全支援センター」、職能団体として「公益社団法人 日本看護協会」、関係機関として「公益社団法人 日本医療機能評価機構」などがある。それぞれの組織が医療機関に対してどのような役割を果たしているか述べよ。

- 1) 「医療安全支援センター」
- 2) 「公益社団法人 日本看護協会」
- 3) 「公益社団法人 日本医療機能評価機構」

急性期・周術期分野

問題 9 災害時や多重事故などで行われるトリアージについて、その目的と具体的な方法を中心に知っていることを記載せよ。

問題 10 60 歳代男性、主訴胸痛の患者が救急搬送された。鑑別すべき疾患を3つ以上挙げて各々の診断に必要な検査、特徴的な所見について記載せよ。

看護学領域（その3）

臓器移植コーディネート分野

- 問題 11 改正臓器移植法下で脳死下臓器提供ができる施設について、臓器移植法ガイドライン上の条件と体制整備上の課題について述べよ。
- 問題 12 生体臓器提供・移植の対象となる家族・親族の範囲（日本移植学会の倫理指針）を明確にしたうえで、生体ドナーとレシピエントの意思決定支援のポイントを書け。

空白ページ

リハビリテーション学領域（その１）

リハビリテーション教育科学分野

- 問題 13 理学療法、作業療法、言語聴覚療法など臨床実習において、実習生が実施可能な基本技術のうち、達成すべき優先度の高い項目順に 10 個あげなさい。また、その理由について簡潔に説明せよ。
- 問題 14 新しい時代への対応に向けて経済界が期待する大学教育改革において、今後、重視すべき教育内容にリベラルアーツ教育が含まれています。現代におけるリベラルアーツ教育とは何か、またどのような力を付ける教育であるか、説明せよ。

活動科学分野

- 問題 15 ランチョ・ロス・アミーゴ方式で細分化した歩行周期の各層の名称、定義、役割を述べよ。
- 問題 16 半側空間無視のリハビリテーションを、①症状の改善を目指す方法 ②ADL 訓練の留意点 ③感覚間の統合の意義 ④環境調整の留意点 に分けて説明せよ。

摂食・嚥下治療学分野

- 問題 17 摂食嚥下障害のリハビリテーションにおける姿勢調整の目的と種類について説明せよ。さらに複数の姿勢を組み合わせるときの留意点について説明せよ。
- 問題 18 嚥下前誤嚥、嚥下中誤嚥、嚥下後誤嚥についてそれぞれの定義と誤嚥の起こる機序を説明せよ。

リハビリテーション学領域（その2）

リハビリテーション生体医工学分野

問題 19 三次元動作解析では、複数の身体座標から算出される関節角度、身体座標の位置から算出される速度や加速度、これらのパラメータ等を用いた計算によって得られる運動の独立性や運動学習の習熟度を算出することも可能となっている。つまり三次元動作解析とは物理量をはじめとした単一指標を用いて客観的評価を実現しようとする試みである。一方臨床における評価では、複合的な要素が組み合わさった運動評価となる。臨床評価法として広く用いられている **Brunnstrom Stage** について、上肢の運動項目について **Stage I** から **Stage VI** までの内訳を説明せよ。

問題 20 リハビリテーション医療において、歩行能力は日常生活活動や社会参加を支える基盤となる重要な能力の一つである。近年では、歩行能力を効率的かつ効果的に向上させることを目的として、歩行練習支援ロボットの開発やその臨床効果の検証が進められている。臨床で広く用いられている歩行能力の評価指標の一つに **Functional Independence Measure (FIM)** がある。**FIM** の「移動（歩行・車いす）」項目において、対象者が 50m 以上移動できる場合の採点（1～7 点）の判断過程を示すフローチャートを作成せよ。

リハビリテーション機能形態学分野

問題 21 $\alpha - \gamma$ 連関を説明せよ。

問題 22 運動時の深部体温上昇と運動能力の関係について「中枢性疲労」と「末梢性疲労」の観点から述べよ。

空白ページ

